

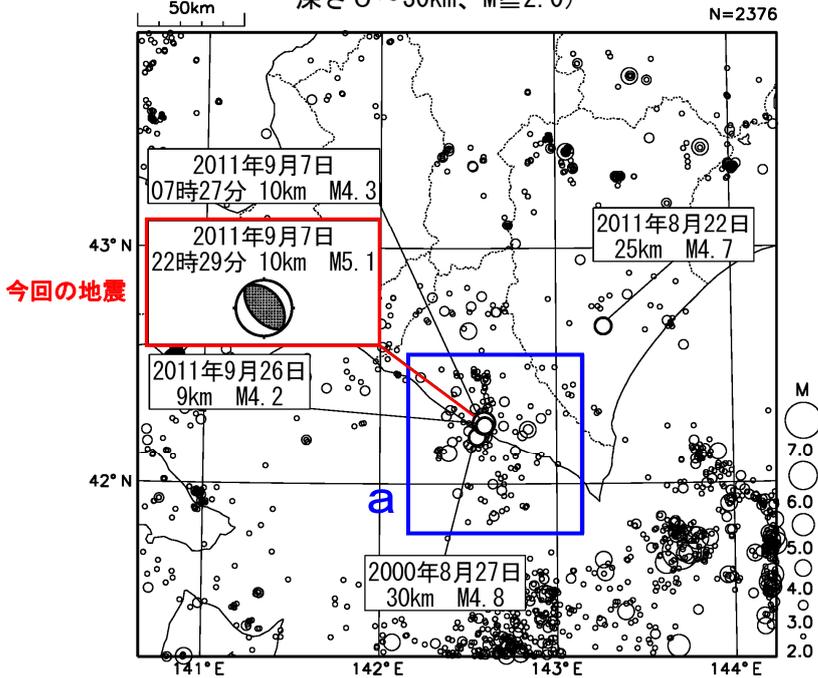
9月7日 日高地方中部の地震

情報発表に用いた震央地名は〔浦河沖〕である。

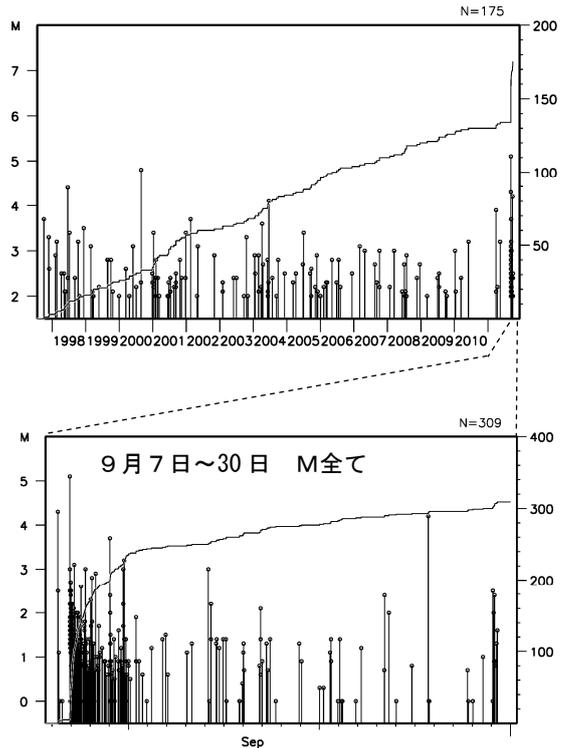
2011年9月7日22時29分に、日高地方中部の深さ10kmでM5.1の地震（最大震度5強）が発生した。地殻内で発生した地震である。発震機構は北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。この地震により、住家一部破損1棟の被害が発生した（総務省消防庁による）。ほぼ同じ場所で、7日の07時27分にM4.3（最大震度4）、07時33分にM2.5（最大震度2）の地震が発生していた。22時29分の地震以降、余震活動が活発になり、月末までに震度1以上を観測する地震が52回観測された。これまでの最大の余震は、9月26日16時49分に発生したM4.2の地震（最大震度4）である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では2000年8月27日にM4.8の地震（最大震度4）が発生している。

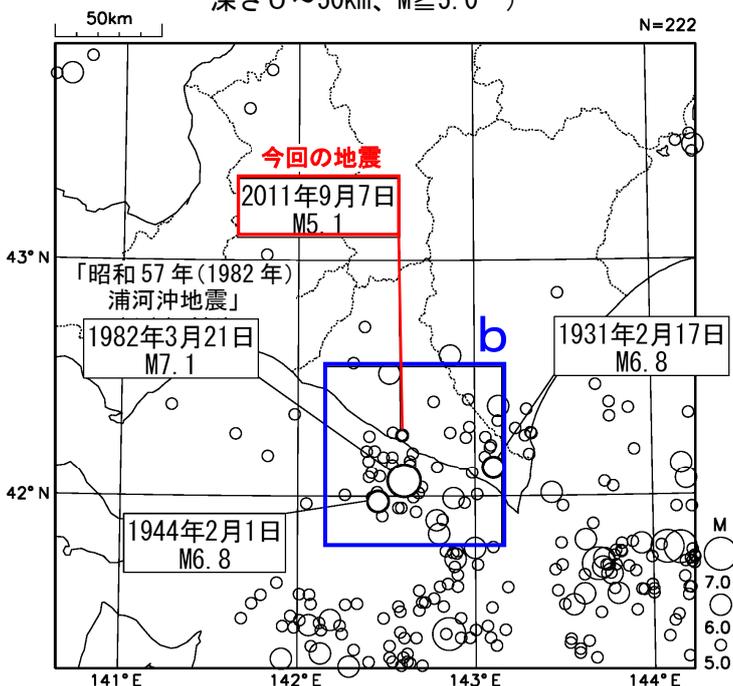
震央分布図（1997年10月1日～2011年9月30日
深さ0～30km、M≥2.0）



領域a内の地震活動経過図、回数積算図



震央分布図（1923年8月1日～2011年9月30日、
深さ0～50km、M≥5.0）



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M7.0前後の地震が時折発生しているが、「昭和57年（1982年）浦河沖地震」（最大震度6）の後はM6.0以上の地震は発生していない。

領域b内の地震活動経過図

